

2020年3月期 第2四半期決算説明会 説明資料

2019年11月1日
株式会社 ドリームインキュベータ
(証券コード4310)

The logo consists of the letters "DI" in a white, serif font, centered within a solid blue square.

DI

免責事項

本資料内に記載された将来の見通しや戦略等は、作成時点において入手可能な情報に基づくものであり、目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。将来の業績は、経営環境の変化、投資先企業の業績の悪化、金融商品市場における株価の変動等の要因により実際とは大きく異なる可能性があります。

また、本資料の内容は将来予告なく変更されることがあります。本資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合し、利用者の判断によって行って頂きますようお願い致します。本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

1.2020年3月期 第2四半期決算要旨

2.NetAssetValue（NAV）の状況

3.各事業の状況

1) 事業投資

2) プロフェッショナルサービス

3) 営業投資

2020年3月期 第2四半期 連結P/L（保険項目調整後）

（単位：億円）

	2019年 3月期 第2四半期	2020年 3月期 第2四半期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	97.7	106.1	8.4	8.6%
売上総利益	47.0	51.9	4.8	10.3%
営業利益	3.0	2.5	▲0.5	▲16.7%
経常利益	4.6	2.0	▲2.6	▲56.3%
親会社株主帰属純利益	2.2	▲0.0	▲2.3	—

2020年3月期 第2四半期 連結P/L（保険項目調整前）

参 考

（単位：億円）

	2019年 3月期 第2四半期	2020年 3月期 第2四半期	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	97.7	106.1	8.4	8.6%
売上総利益	44.6	48.3	3.7	8.3%
営業利益	0.6	▲0.9	▲1.6	—
経常利益	2.2	▲1.4	▲3.7	—
親会社株主帰属純利益	4.1	▲1.4	▲5.5	—

注： 保険項目の調整による金額変更箇所は青文字で記載

保険会計の調整項目及び調整額

参 考

(単位：億円)	2019年 3月期 第2四半期	2020年 3月期 第2四半期
調整前売上総利益（連結）	44.6	48.3
● 普通責任準備金に関する調整額* ● 異常危険準備金繰入額**	+ 0.1	+ 0.7
	+ 2.2	+ 2.7
調整額合計	+ 2.3	+ 3.4
調整後売上総利益（連結）	47.0	51.9

* 普通責任準備金の算定を初年度収支残方式から未経過保険料方式へ変更した場合の調整額

** 繰入額の影響を排除（戻入れの場合はマイナス）

2020年3月期 第2四半期 セグメント別P/L

(単位：億円)		2019年 3月期 第2四半期	2020年 3月期 第2四半期	対前期 増減率
営業投資 セグメント				
● 売上高		16.6	4.0	▲75.7%
● 経常利益		2.7	▲1.6	—
プロフィショナル サービス セグメント	戦略 コンサルティング			
	● 売上高	9.0	10.9	20.5%
	● 経常利益	▲0.9	0.2	—
	DI Asia			
	● 売上高	1.6	1.9	19.5%
	● 経常利益	▲0.7	▲1.0	—
事業投資	保険 セグメント			
	● 売上高	70.3	85.5	21.6%
	● 経常利益*	3.7	5.2	39.7%
	その他 セグメント (ワークスタイルラボ)			
	● 売上高	—	3.8	—
	● 経常利益	▲0.1	▲0.7	—

注： 経常利益：セグメント利益－全社費用負担額±営業外損益
* 保険項目調整後

DI Asia 調査事業から撤退

背景

- 前事業年度において通期黒字化に至らなかったことから、事業ポートフォリオの見直しを実施
- 消費者パネル及び調査事業を譲渡し、今後は戦略コンサルティング及びインキュベーション事業との連携に資源を集中

消費者パネル

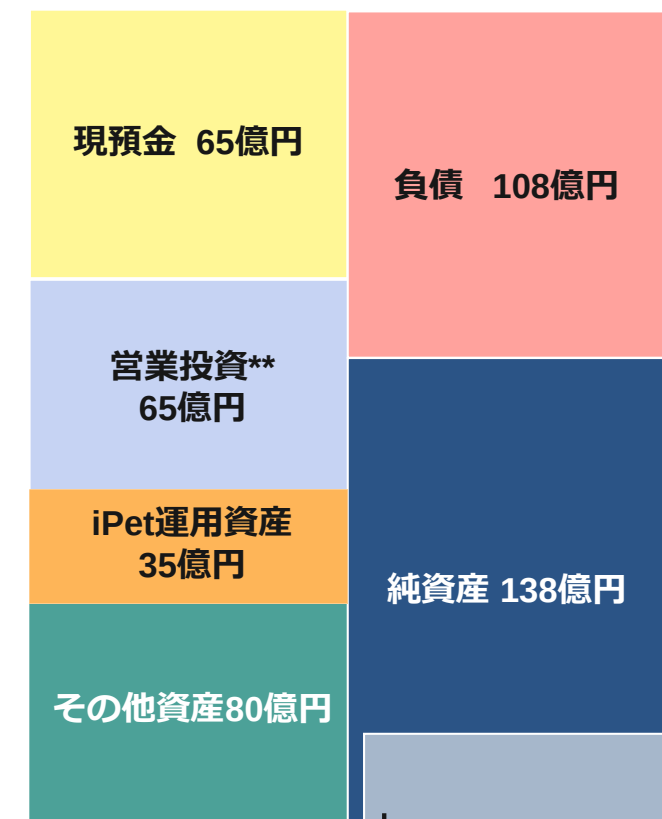
- 東南アジア3か国（ベトナム・タイ・インドネシア）において保有する消費者パネルを、株式会社マクロミルに譲渡

調査事業

- 株式会社N&S Partnersに譲渡

2020年3月期 第2四半期 連結B/S

2019年3月末
(総資産：247億円)



内、非支配株主持分
25億円

2019年9月末
(総資産：251億円)



内、非支配株主持分
28億円

純資産 増減内訳

● 当期純利益	△1.4億円
● 非支配株主持分	+2.4億円
● 自己株式取得	△2.9億円
● その他有価証券 評価差額金*	△0.9億円
● その他包括利益等	1.1億円
● 合計	△1.7億円

オフバランス資産：約80億円 (iPet含み益)

* 外貨建有価証券の為替変動影響等
** Post-IPO含む

1.2020年3月期 第2四半期決算要旨

2.NetAssetValue（NAV）の状況

3.各事業の状況

1) 事業投資

2) プロフェッショナルサービス

3) 営業投資

2020年3月期 NAV状況

(単位：億円)

2019年3月末時点

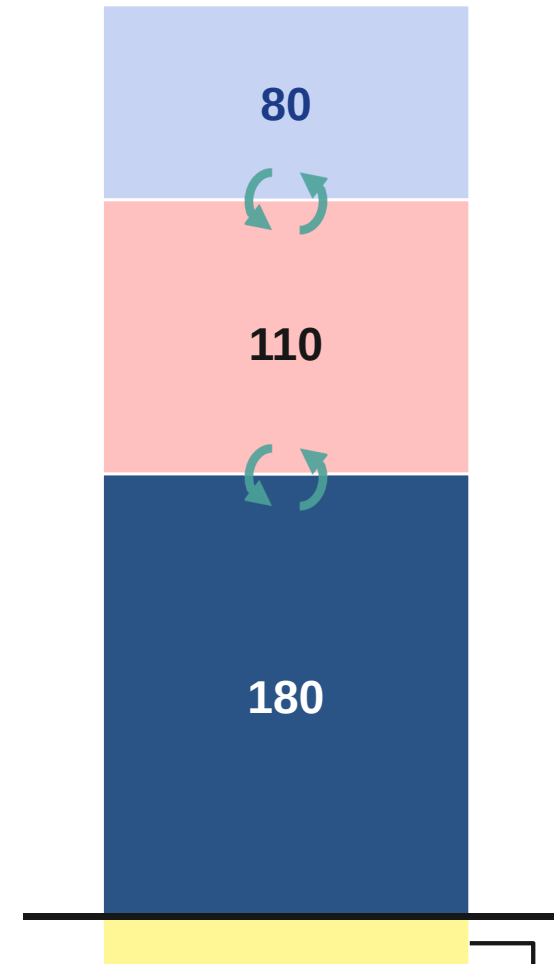
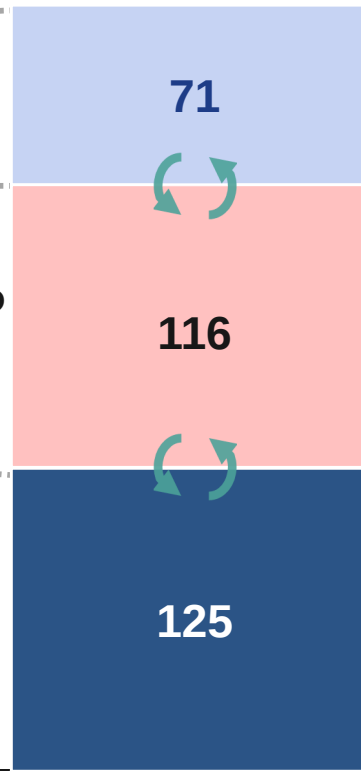
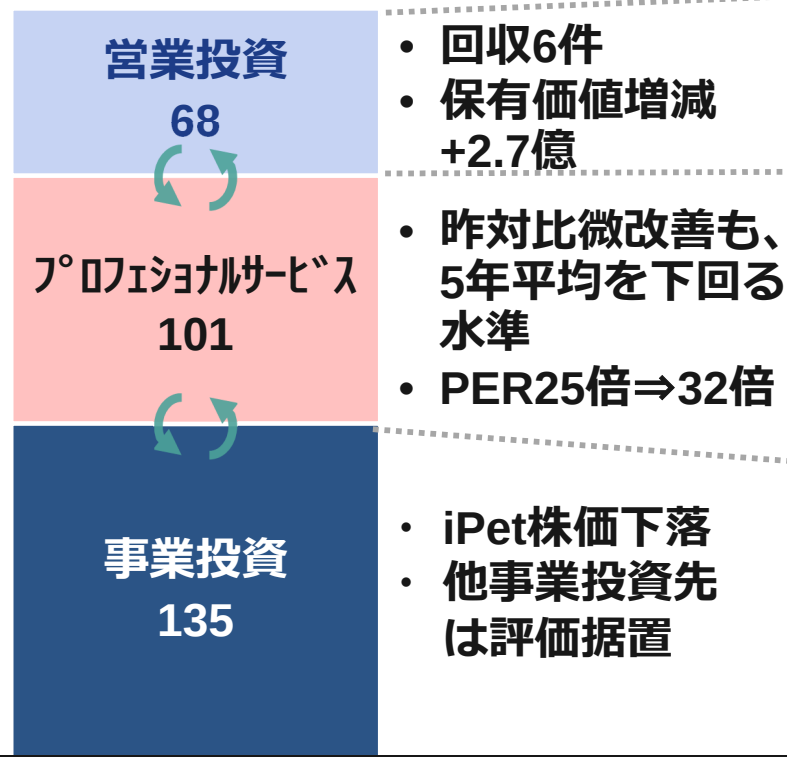
2019年9月末時点

期首時点
2020年3月末 見通し

合計：350

合計：301
(1株当たり2,926円)

合計：308
(1株当たり3,043円)



Net Cash ▲4

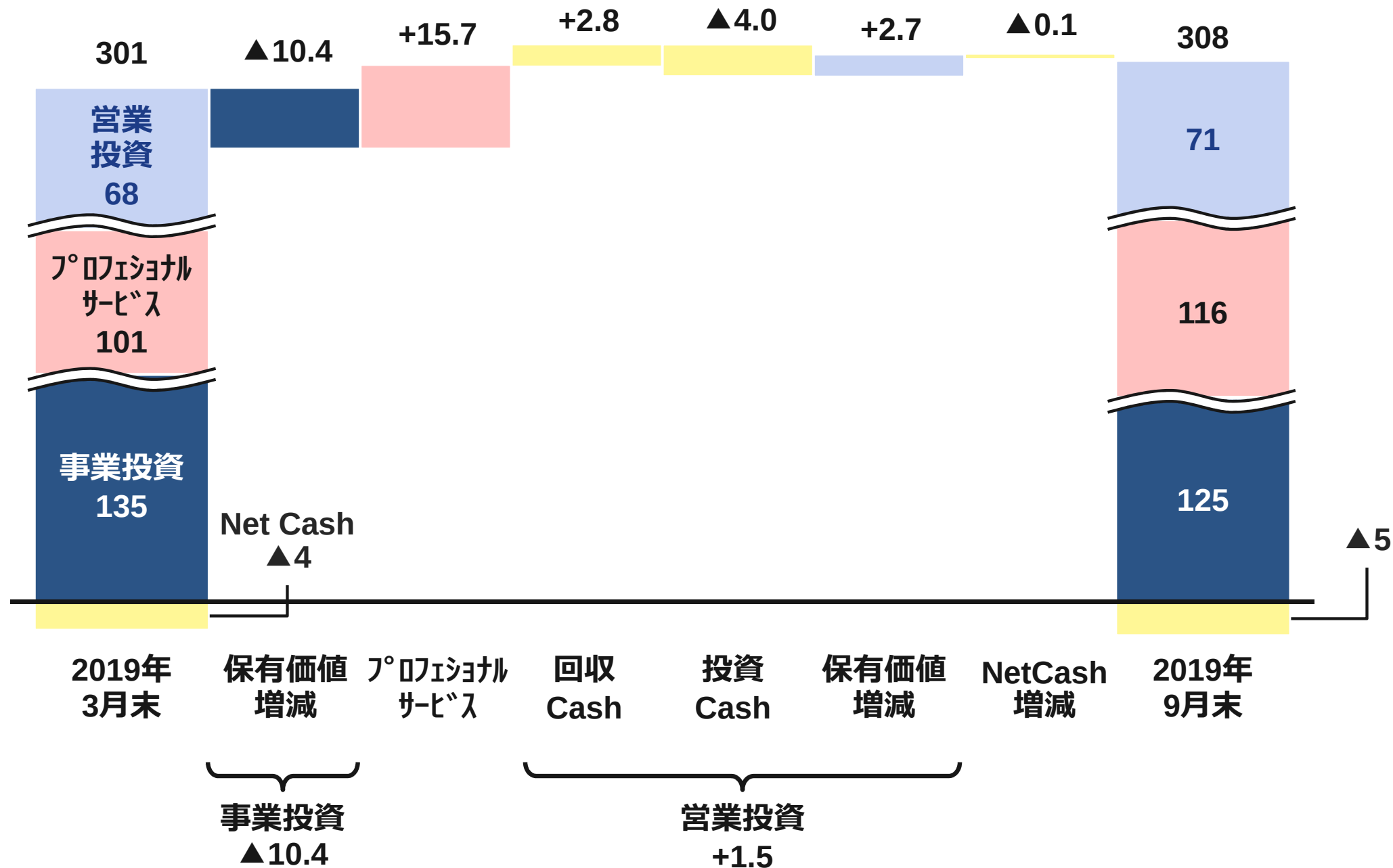
▲5

▲20*

注：DI Asiaは7° 77Eシヨナルセゐスに含めず、事業投資に算入
* 営業投資回収Cashは営業投資（薄青）に算入

企業価値（NAV）の増減内訳

（単位：億円）



積み上げ方式による企業価値評価

● 営業投資・事業投資：

－ 上場銘柄

- 期末時点時価総額×当社持ち分

－ 未上場銘柄

- 期末時点投資簿価残高±時価評価差額
(直近ファイナンス価格や第三者取引価格)
- 上記価格が無いものは再評価せず、簿価評価
 - － 今後、評価精度をより改善していく

● プロフェッショナルサービス：

- － 5年*平均税引後利益×同業他社PER**

* 四半期純利益の直近20期分

** (株)ユーザベース「SPEEDA」上で同業種に分類される他社のPER中央値

1.2020年3月期 第2四半期決算要旨

2.NetAssetValue（NAV）の状況

3.各事業の状況

1) 事業投資

2) プロフェッショナルサービス

3) 営業投資

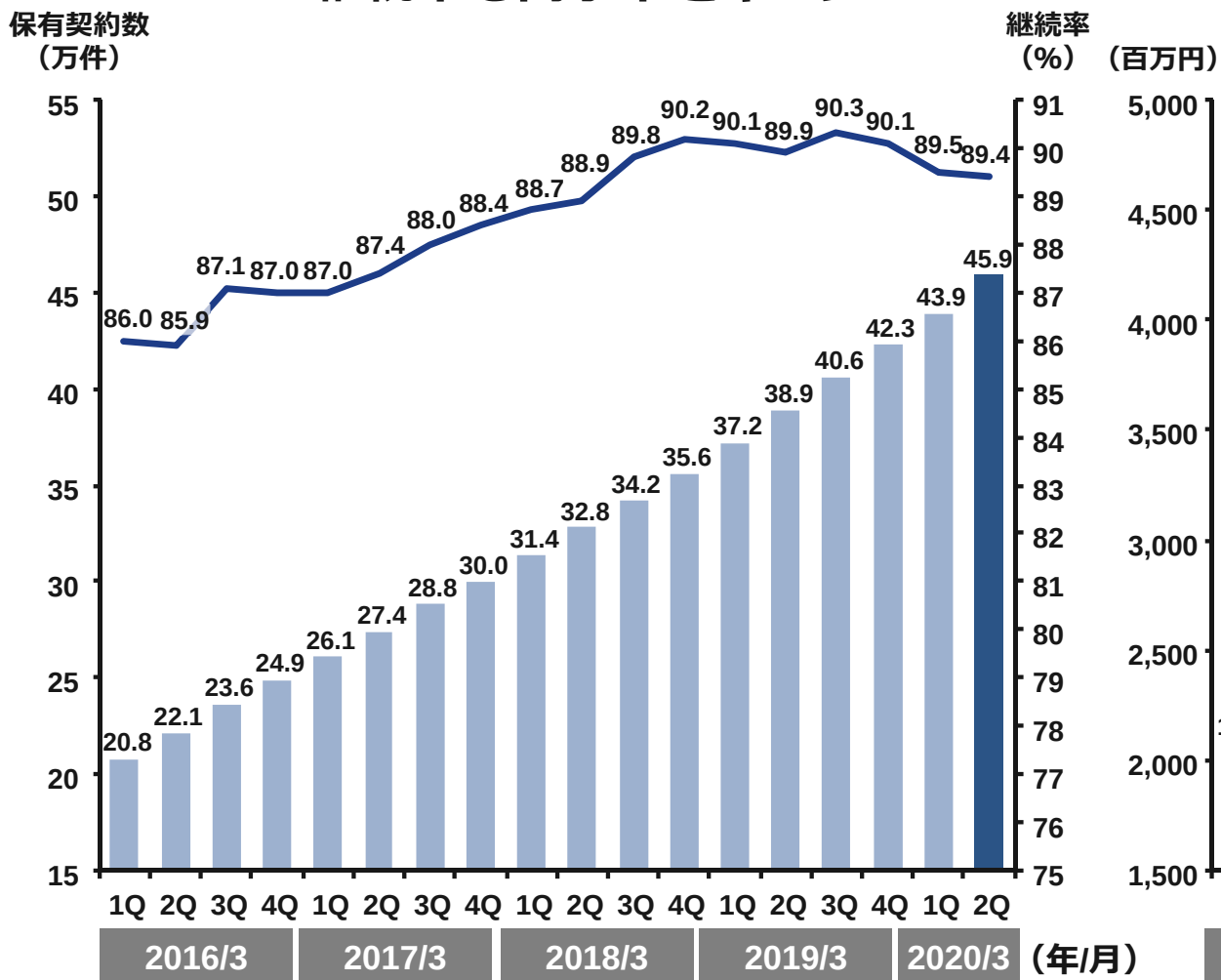
投資育成先

高出資比率＋経営支援中心。投資先の成長により深くコミット

	事業内容	出資比率	直近NAV（億円）	ハイライト
アイペット損害保険(株) 	ペット向け医療保険事業 （業界第2位）	56%	113	引き続き 成長トレンド
(株) ボードウォーク 	イベントチケット販売 ファンクラブ運営事業 Eコマース	30% （潜在ベース 46%）	3 （再評価なし）	前期反動減は 想定より小さい IPO準備
(株)ワークスタイルラボ 	フリーコンサルタントの マッチング・プラットフォーム事業	100%	5 （再評価なし）	規模拡大のため の先行投資
(株) DI Asia	● コンサルティング事業を残し、他事業は全て譲渡 ● 今後は、本社事業（コンサル／インキュベーション）との連携に資源集中			

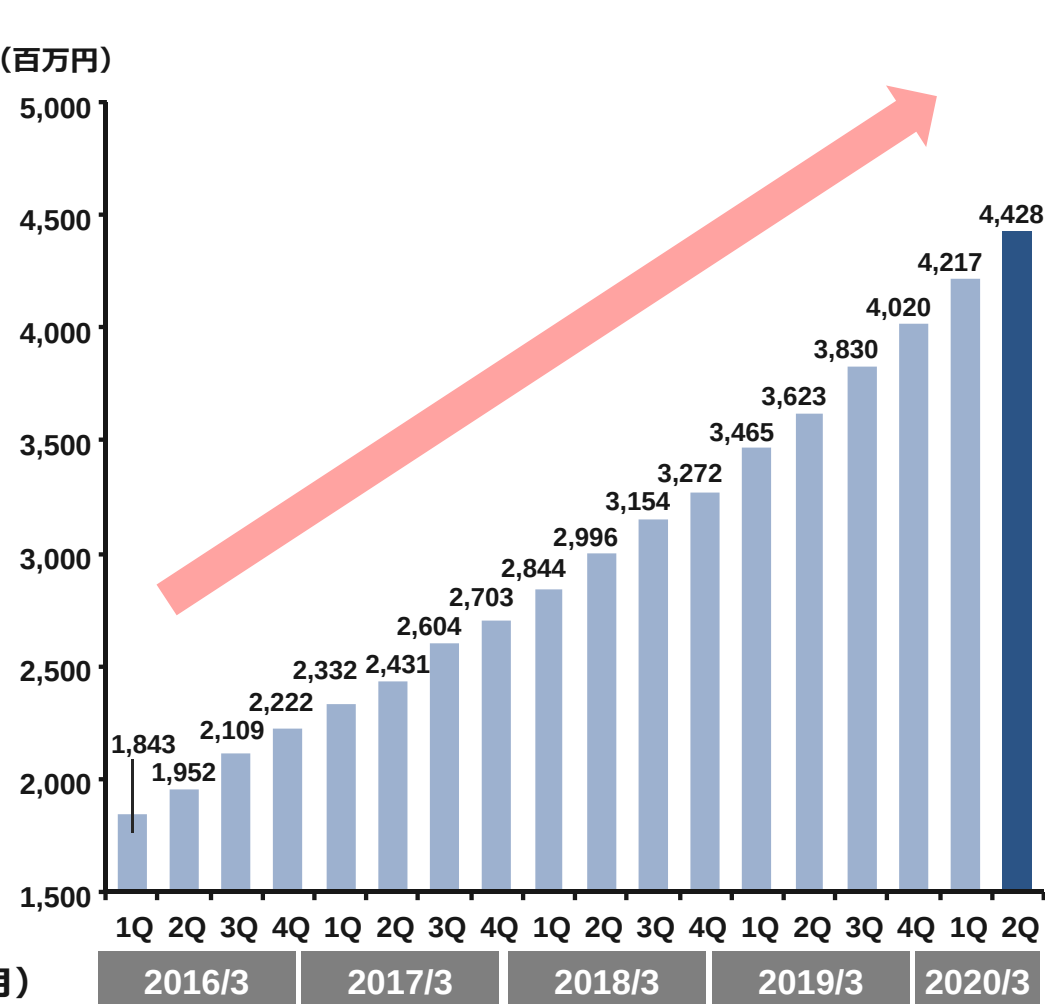
保険契約件数

- 順調に拡大
- 継続率も高水準をキープ



売上推移 (単体ベース)

- 保険契約の増加と共に、順調に増加



取り組み状況

『ticket board』 会員数：

- 830万人（2019年9月）

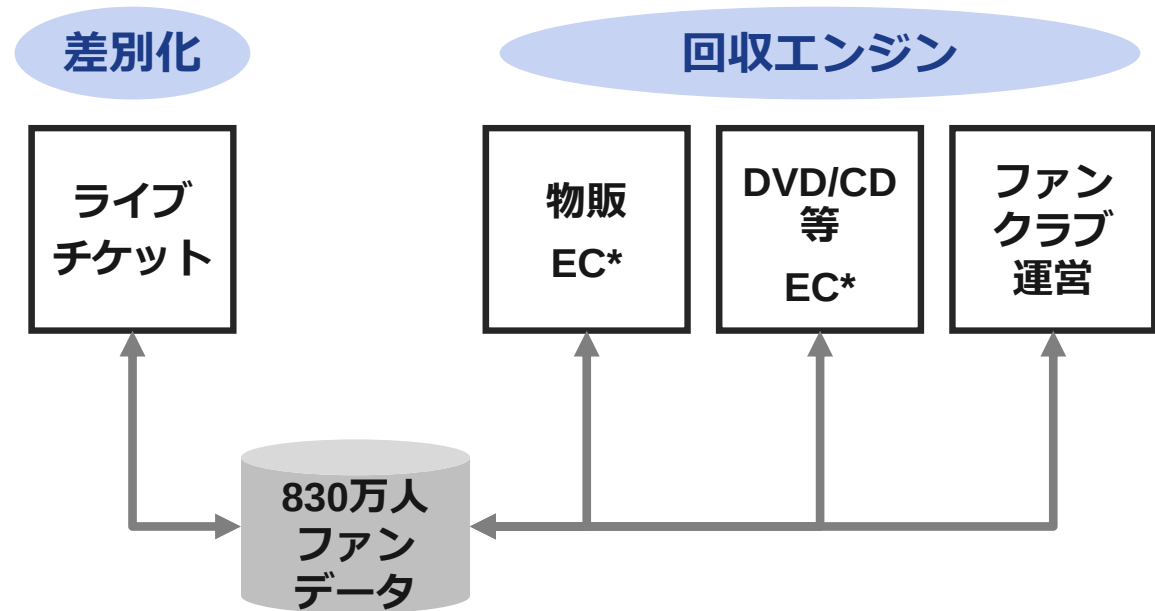
主要取引アーティスト（五十音順）：

- 安室奈美恵、E-girls、EXILE、SMTOWN LIVE、三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE、SHINee、GENERATIONS from EXILE TRIBE、少女時代、東京ガールズコレクション、TWICE、ナオト・インティライミ、氷室京介、Mr.Children、矢沢永吉、L'Arc〜en〜Ciel

足元の状況

- 2018年12月期は過去最高益
- 2019年12月期は前期特需の反動減があるものの、その他は順調に成長
- IPOに向けた準備を進めている

ビジネスモデル



手数料は低いが、
ファンデータ獲得

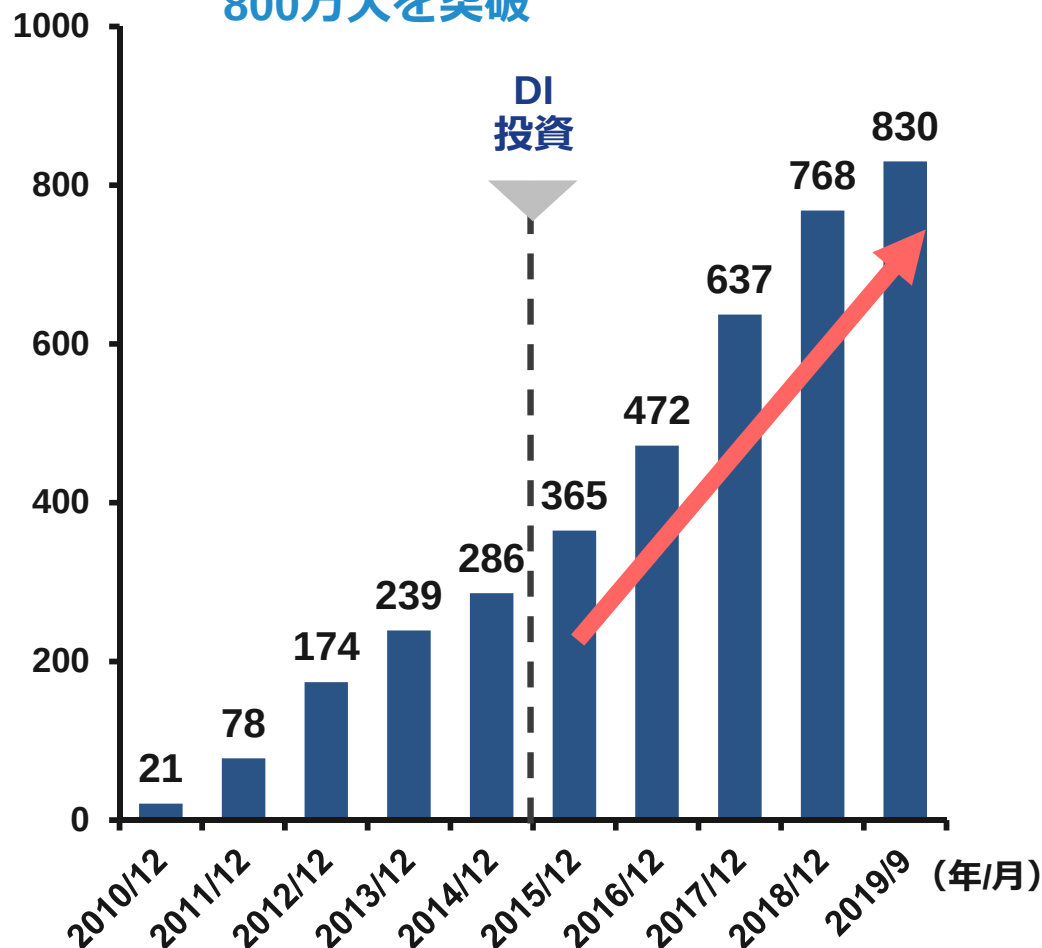
溜まったデータを利用して
ダイレクト販売につなげる

単なるチケットビジネスではなく、
ダイレクトマーケティングビジネス

会員数推移

ユーザー数
(万人)

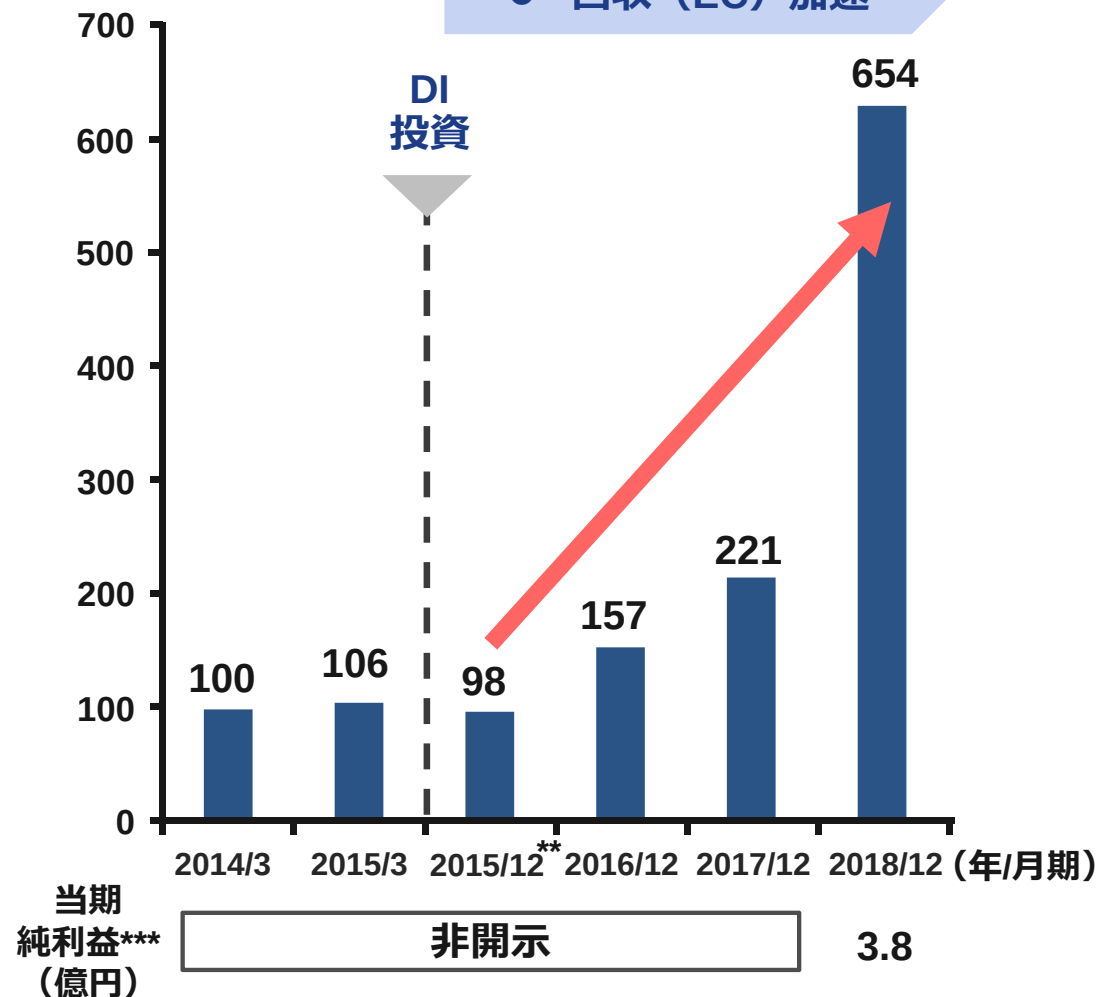
800万人を突破



売上高*推移

(指数)

- 経営基盤・システム構築支援
- 回収 (EC) 加速

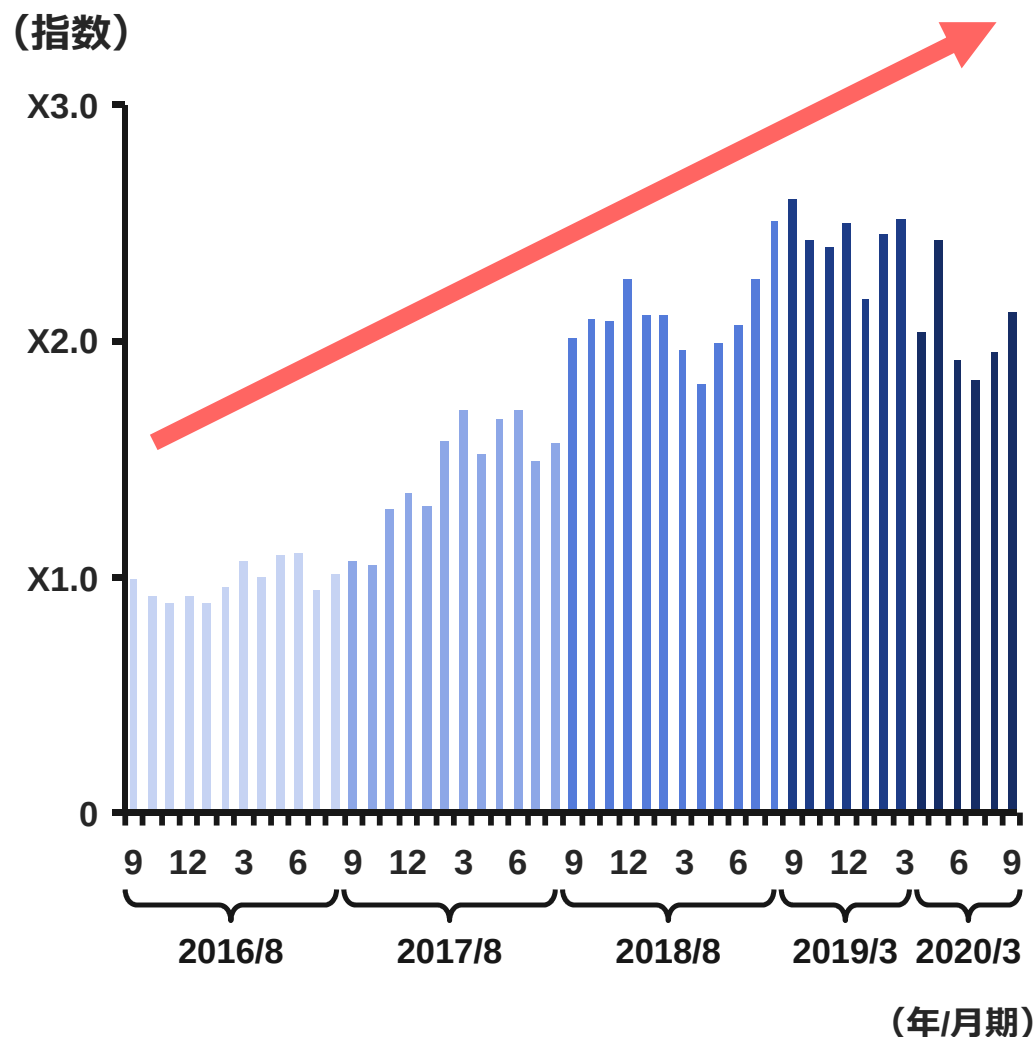


* 2014年3月期の売上高を100として指数化

** 決算期変更により9ヶ月決算

*** 官報データベースより

月次粗利*推移



取り組み状況

ビジネスモデル

- フリーコンサルのマッチングPF運営

概況

- 当期は規模拡大に向けた先行投資フェーズ
(テクノロジー・採用等)
 - － 想定と大ズレ無し

TOPICS

- 経済産業省後援「第4回HRテクノロジー大賞」でイノベーション賞を受賞
- インドの同業FlexingIt社と戦略的パートナーシップを締結



* 2015年9月の売上高を1として指数化

1.2020年3月期 第2四半期決算要旨

2.NetAssetValue（NAV）の状況

3.各事業の状況

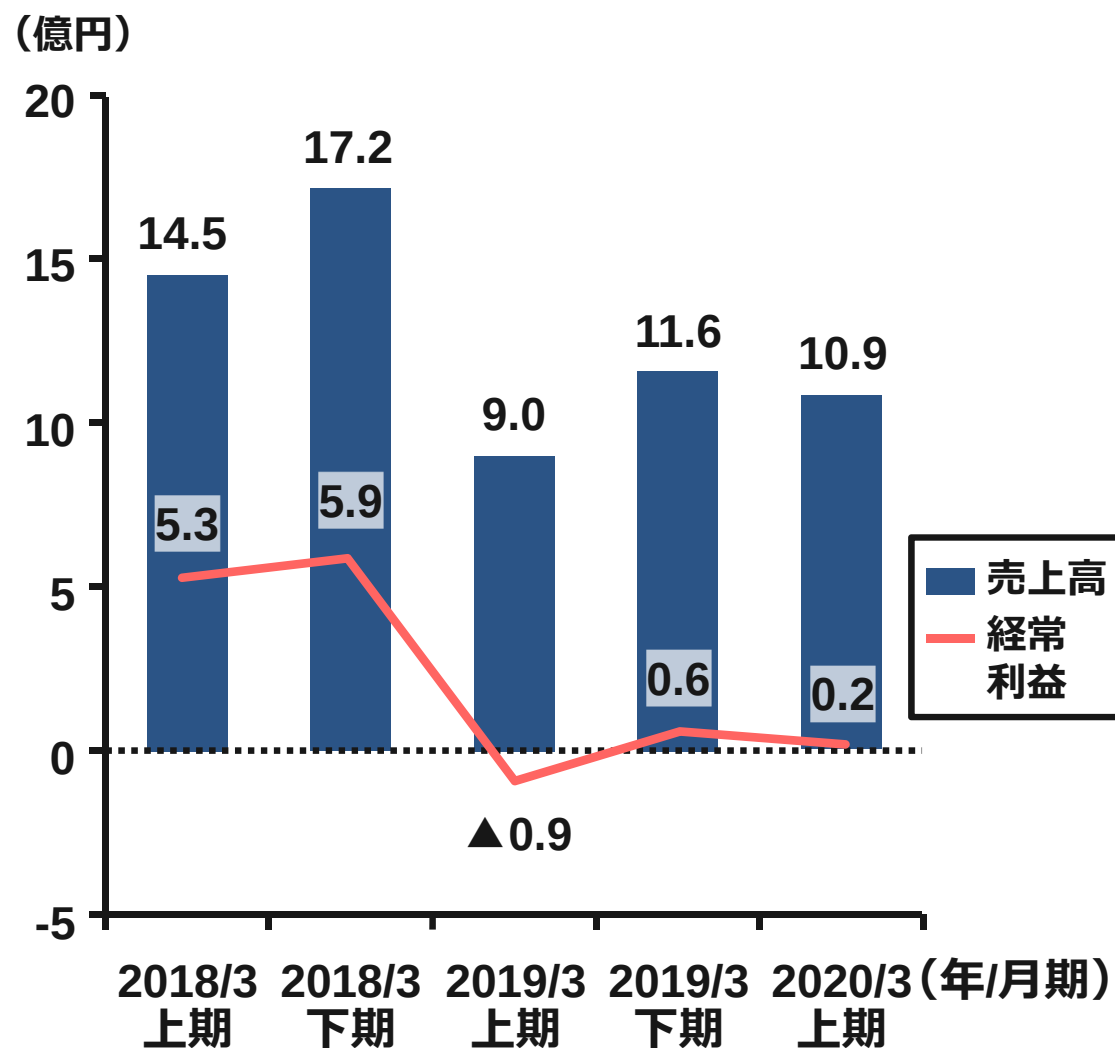
1) 事業投資

2) プロフェッショナルサービス

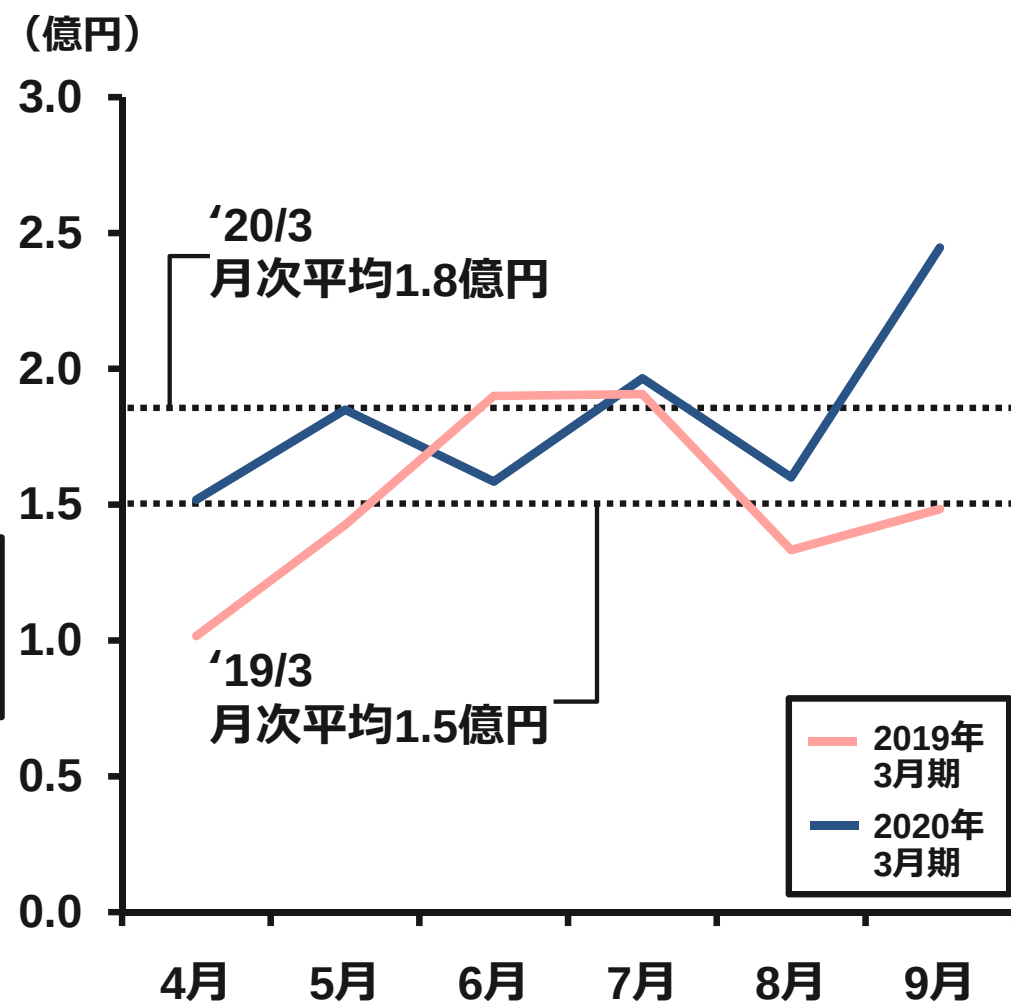
3) 営業投資

プロフェッショナルサービス概況*

業績推移



上期月次売上推移



上期は前期比微増

今後のコンサルティングの方向性

マーケットニーズを捉えた打ち手により、事業基盤を強化

ニーズ	打ち手	
1. 大きな社会課題を解決する 事業創造プロジェクトの加速	コンソーシアム形成 ● シニア社会参画 ● データプラットフォーム 他	“得意技” の加速
2. DIの得意技である、 技術シーズ事業化の加速	アスタミューゼ社との提携 (詳細次ページ以降)	
3. 要望の多い、 実行支援メニューの充実	価格体系の見直し 常駐型PJの強化	メニューの 拡充
4. 中堅企業からのニーズへの 対応	若手トップクラス人材の派遣 M&Aアドバイザリ・教育チーム との連携強化	

- 9月以降の積み上がりは順調
- 長期的には、B/Sを絡めた取組にもトライ

アスタミューゼ社との提携

ドリームインキュベータとアスタミューゼが 戦略的パートナーシップを締結

株式会社ドリームインキュベータ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 山川 隆義、以下 DI）、及び、アスタミューゼ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 永井 歩）は、戦略的パートナーシップを締結することになりましたので、お知らせいたします。



DI は、業界を牽引し、新たな産業を生み出そうとする大企業に対する事業創造やイノベーションの推進を支援しています。特に社会課題をビジネスの力で持続的に解決する“ビジネスプロデュース”は、その看板商品です。その実現のカギを握るのは新技術やイノベーションに関する世界中のデータ。それらをこれまでにない新しい仕掛けで集約・提供しているアスタミューゼの取り組みに大いに共感し、また、提供価値や顧客における相乗効果や補完関係を強く感じ、この提携に至りました。

提携の背景

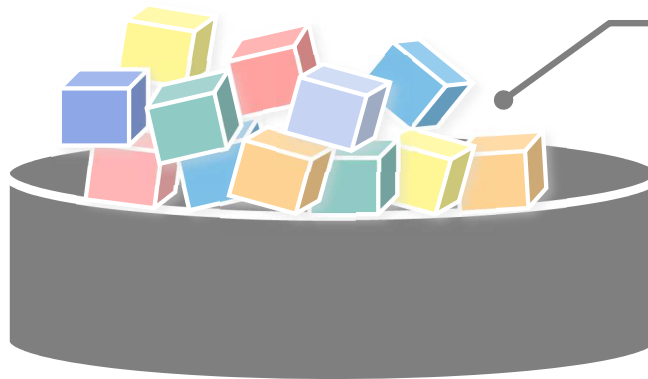
DI

製造業に対する、技術シーズの事業化プロジェクトを長年に渡り多数経験

×

アスタミューゼ

世界最大のイノベーションデータベースを保有



資源・空間・製品

エネルギー

医療・健康

モビリティ

航空宇宙・海洋開発

・・・etc.

DIの得意技である、技術シーズの事業化をより加速

1.2020年3月期 第2四半期決算要旨

2.NetAssetValue（NAV）の状況

3.各事業の状況

1) 事業投資

2) プロフェッショナルサービス

3) 営業投資

これまでの営業投資実績



170

Investments



8

Countries invested



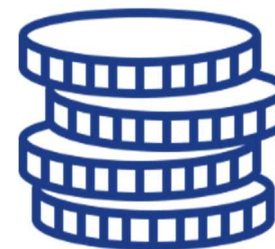
28

IPOs



2.3x

Investment Multiple



16%

IRR

ポートフォリオ状況（簿価ベース）

(単位：億円)		2019年3月末	→	2019年9月末
主要ベンチャー ポートフォリオ*	日本	16 (18社)		16 (19社)
	インド	10 (14社)		11 (16社)
	米国	3.2 (7社)		2.0 (4社)
	その他地域	9.5 (4社)		9.2 (4社)
	合計	39 (43社)		40 (44社)
その他投資 **		20		20
投資残高		59		60

+投資 (8社***)

▲売却 (6社)

▲減損 (2社)

* 金額は簿価／簿価200万円以上／Post-IPO・ストックオプション除く
 ** 他社ファンドへのLP出資等
 *** 追加投資含む

日本・インドの営業投資先状況（簿価0.5億円以上）

（単位：億円）

日本					インド				
投資先	簿 価	含み益	投資倍率	IRR	投資先	簿 価	含み益	投資倍率	IRR
A	4.5	1.3	1.3	31%	K	1.6	0.4	1.3	40%
B	2.5	▲0.6	0.7	-6%	L	1.5	▲0.2	0.8	-11%**
C	1.7	0.0	1.0	4%	M	1.2	▲0.2	0.8	-12%**
D	1.1	2.4	3.1	47%	N	1.1	▲0.0	1.0	-5%**
E	1.0	0.1	1.2	6%	O	0.9	0.0	1.0	1%
F	1.0	0.1	1.1	9%	P	0.8	▲0.0	0.9	-3%**
G	0.7	0.3	1.5	8%	Q	0.7	0.4	1.5	48%
H	0.7	0.2	1.4	17%	R	0.7	再評価なし*		-
I	0.6	再評価なし*		-	S	0.7			-
J	0.5	0.7	2.5	75%	T	0.5	0.3	1.7	40%
					U	0.5	0.1	1.2	11%
					V	0.5	0.0	1.0	0%**

* 直近ファイナンス価格がないため
** 為替変動の影響のみ

米国投資先のRightHand RoboticsがPALTAC社への導入と共に日本法人設立

DI Press Release

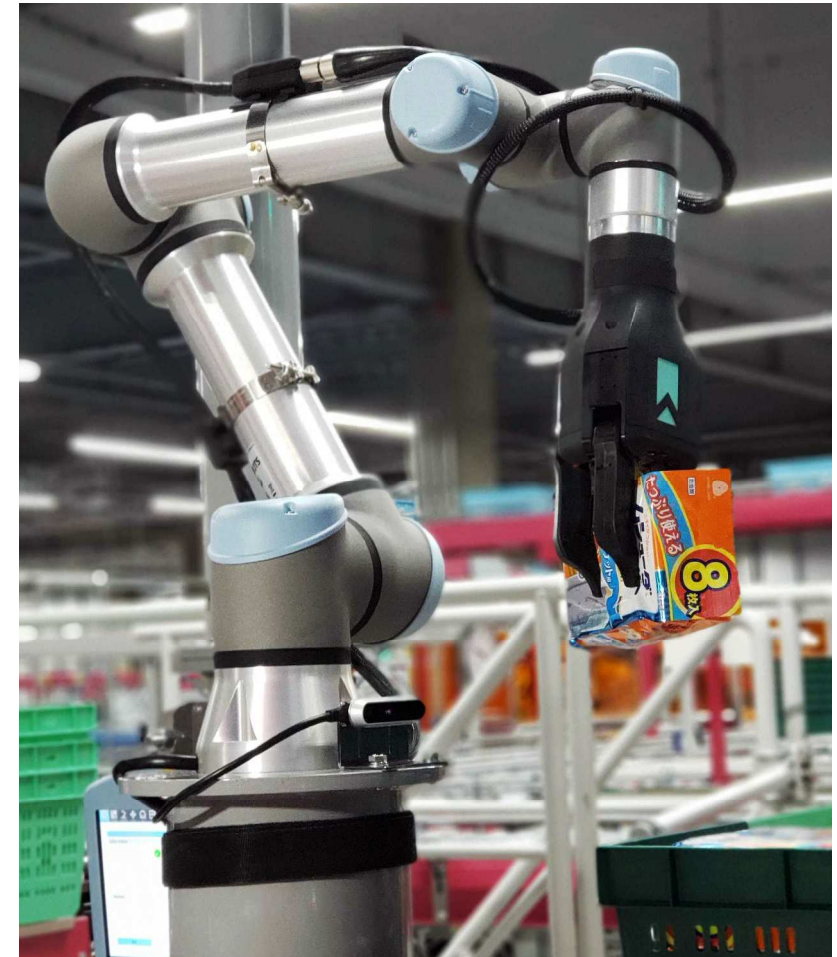
2019年10月21日
株式会社ドリームインキュベータ

投資先であるロボティクスベンチャー RightHand Robotics が アジア・太平洋地域への進出に向け日本法人を設立 ～ 株式会社 PALTAC の物流センターにロボットを導入 ～

株式会社ドリームインキュベータ（以下 DI）の投資先であり、ピッキングロボットの世界的なパイオニア企業である RightHand Robotics（以下 RHR）が、日本を含むアジア・太平洋地域への進出に向け日本法人を設立したのでお知らせいたします。

「世界第二位の卸売及び産業ロボット市場である日本では、ピッキングロボットの需要拡大が期待され、日本法人設立は RHR にとって大きな一歩であります。今後は、日本を含めたアジア・太平洋地域を中心に、海外展開を本格化していきます。」（RHR 共同創業者、Leif Jentoft）

また、RHR は、化粧品・日用品・一般用医薬品卸業界のトップ企業である株式会社 PALTAC に対し 11 月に新設稼働する同社の物流センター「RDC 埼玉」に既にピッキングロボットを導入済で、日本初の導入実績となっております。



日本市場開拓を本格化

投資先紹介①Gracia

設立：2017年

創業者

- 斎藤 拓泰
(23歳)

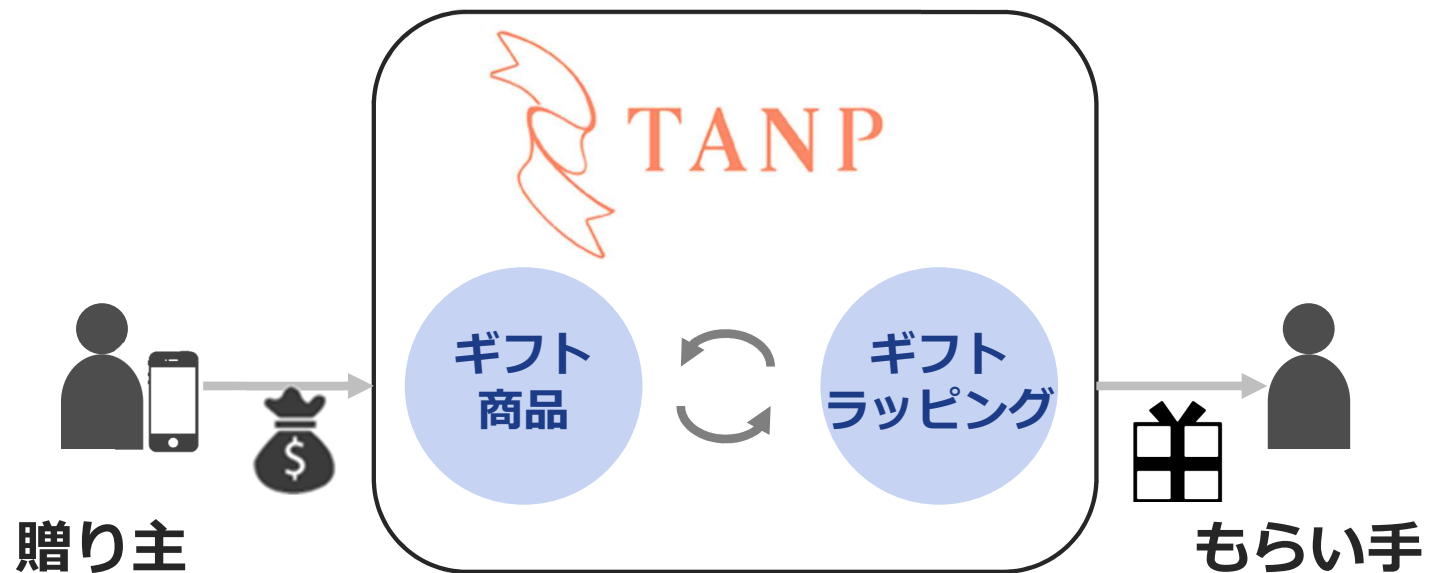


- 東大在学中に、
同級生3名で起業

ステージ：アーリー

ギフトECサイト「TANP」を運営

- 市場規模6兆円、現在1%のEC化率は
今後増加
- 前年比 売上400%で成長



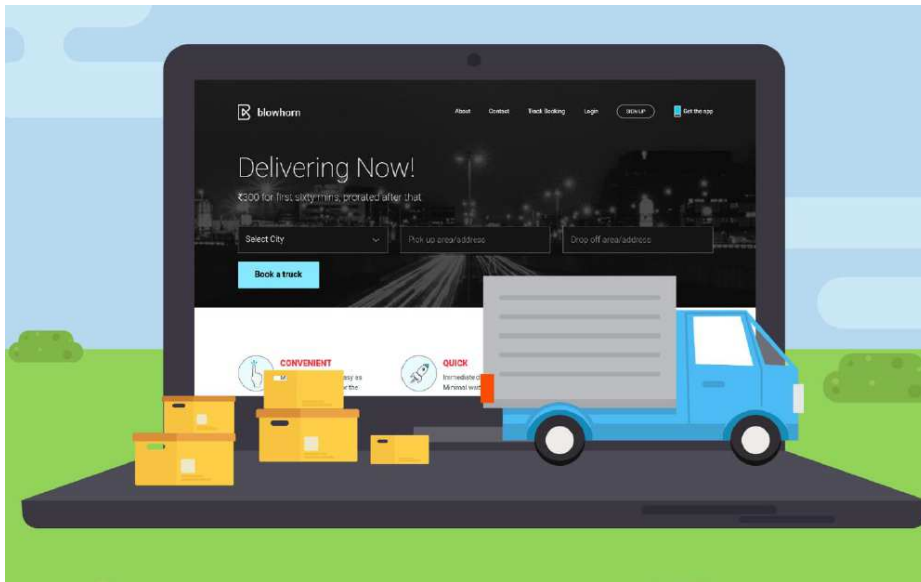
2019年8月、5億円の資金調達

案件概要

事業内容：

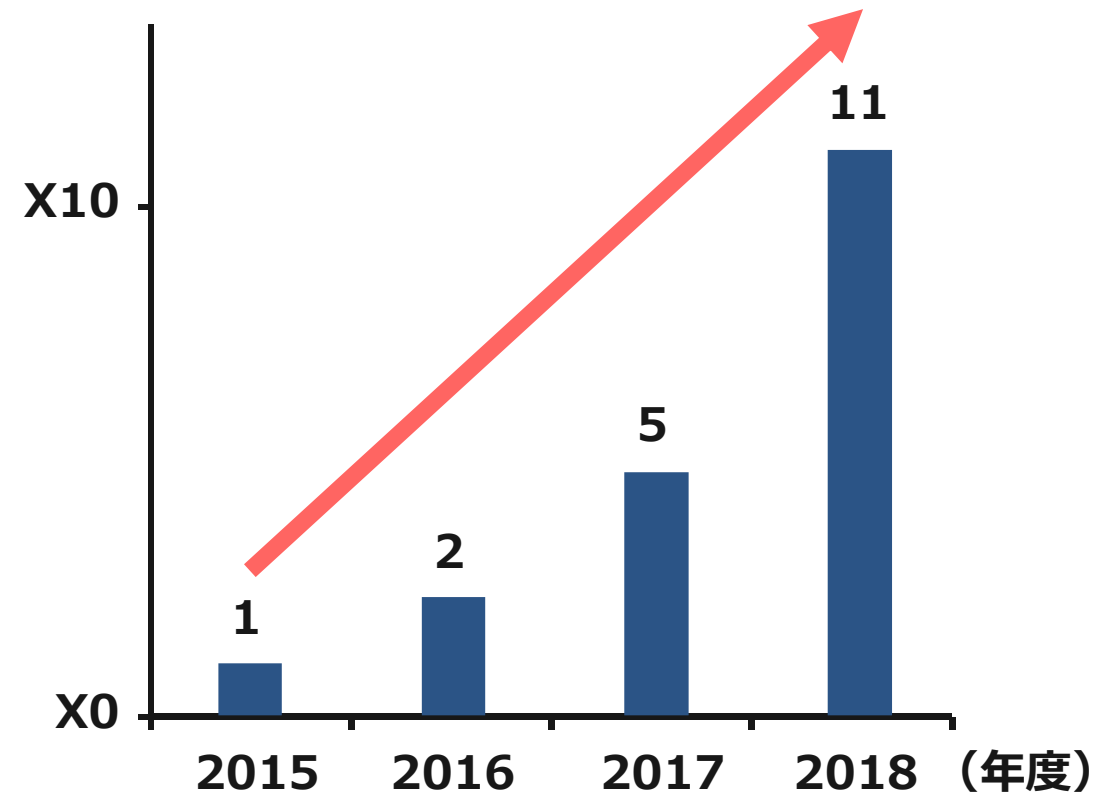
都市内物流PFのインドNo1プレイヤー

- 零細事業者・個人の配送ニーズと個人配送事業者をマッチング
- 唯一フルスタック*でサービス



売上高（指数、2015 = 1）

（指数）



* 注文者への配送の他、仕入や返品配送等のマッチングにも対応

案件概要

事業内容：

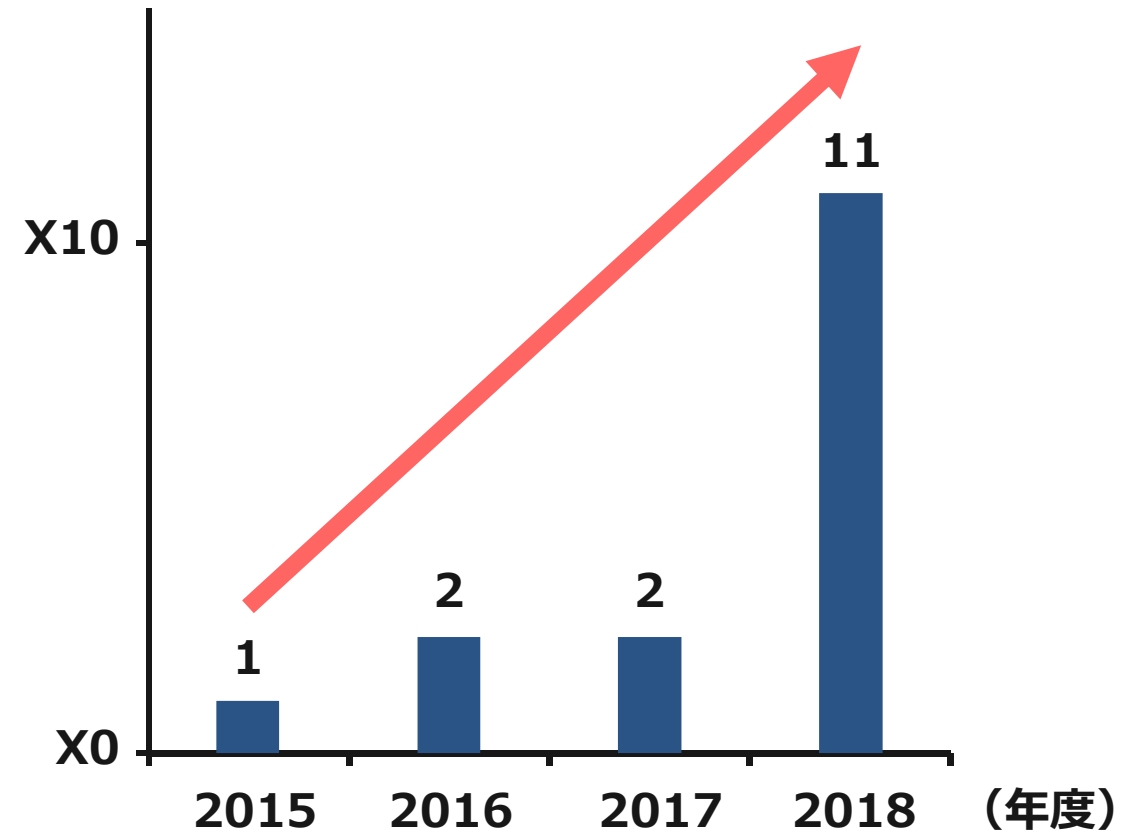
YouTuber支援PF

- YouTuberを発掘・育成し、デジタル動画ビジネス・イベント興行を展開
- 音楽系に強い



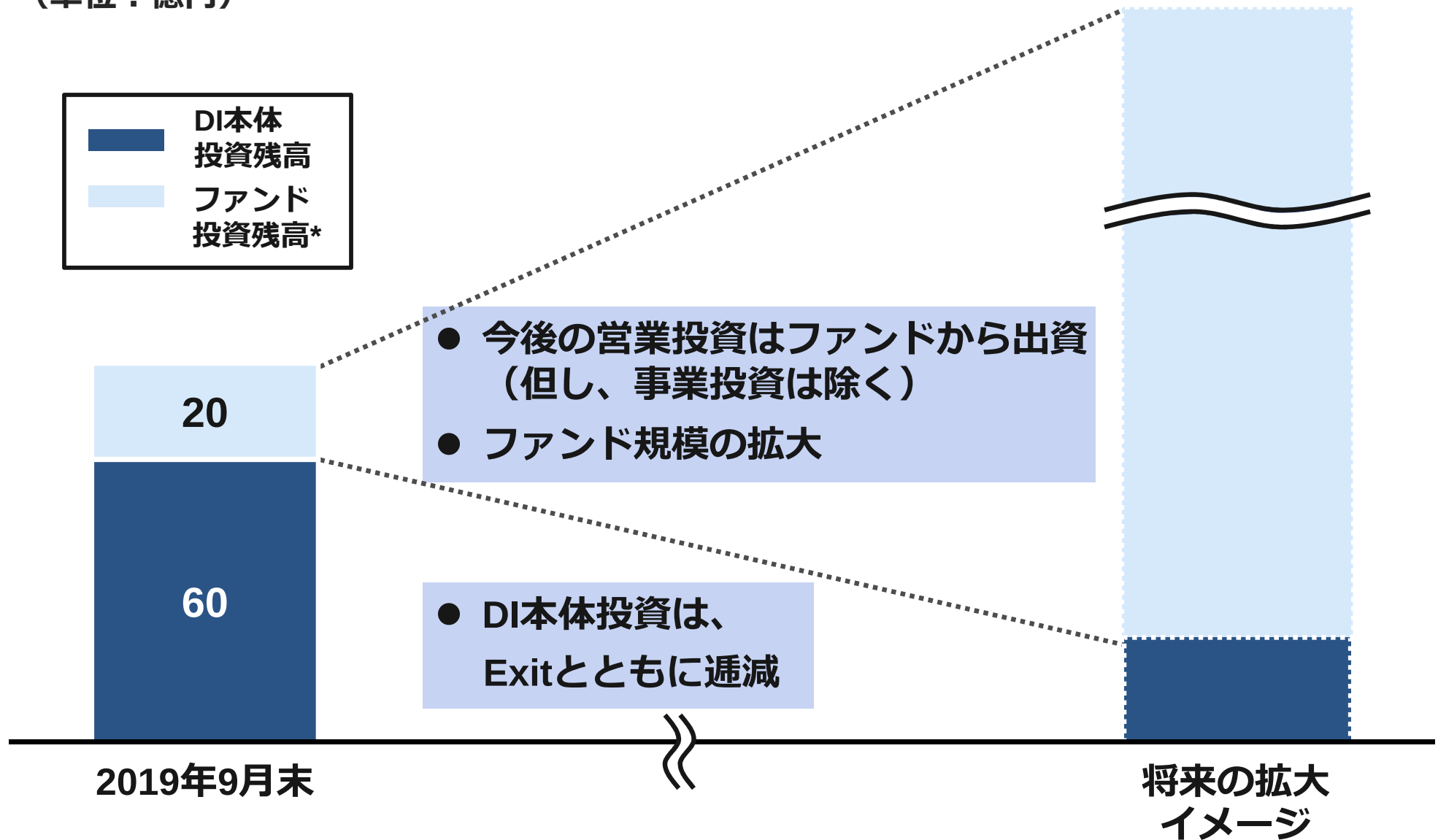
売上高（指数、2015 = 1）

（指数）



営業投資の今後の方向性

(単位：億円)



ファンド運営を拡大し、管理／成功報酬による収益増を目指す

* DI出資持分除く（本体投資残高に含めているため）

国内ベンチャー投資ファンド「DIMENSION」 設立

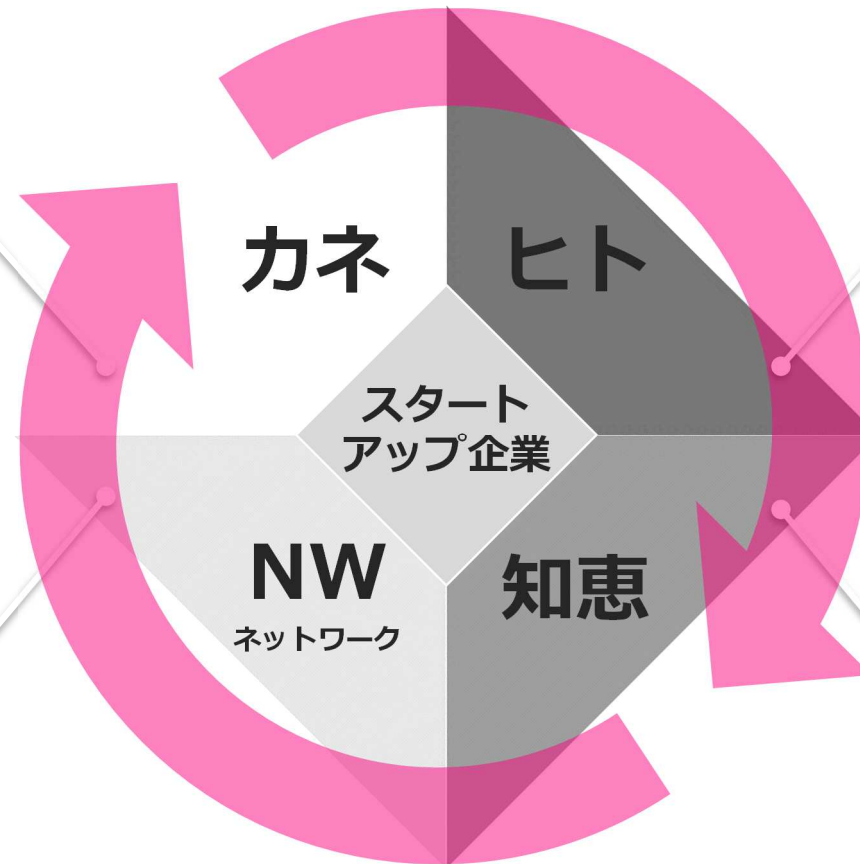
起業家をワンストップ支援する『360°ファンド』

DIMENSION

ファンドで出資支援

大企業・省庁とのハブ

DI



CAREEPOOL
for the chosen one by DIMENSION

人材紹介サービスを開始

豊富な投資育成実績や
オウンドメディアによる
ナレッジを提供

Venture Navi

DIMENSION

■ 概要

名称	DIMENSION投資事業有限責任組合
運用期間	9年
投資ステージ	シード・アーリー、及びIPO前のグロースステージ
主要LP	秋元康様、株式会社みずほ銀行、あかつき証券株式会社、DI 等
ファンド規模	50億円（最大）
無限責任組合員	DIMENSION株式会社（DIの100%子会社）

■ DIMENSION株式会社（ディメンション）概要

設立日	2019年7月12日
本社所在地	東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 6 号
代表取締役	宮宗 孝光

DIMENSION1号案件：五常・アンド・カンパニー

設立：2014年

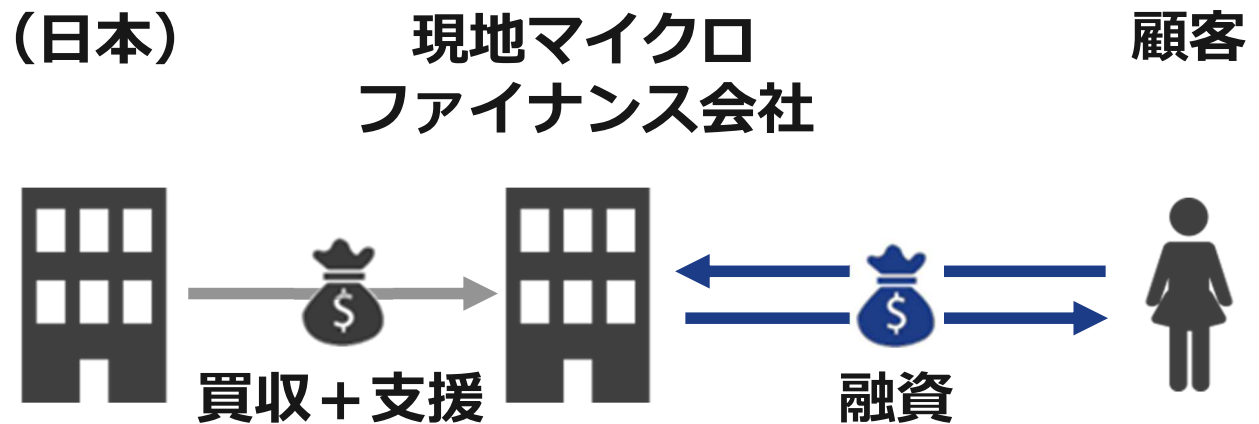
世界4か国*でマイクロファイナンス事業を展開
2014年創業以来、年率200%以上で事業成長中

創業者

- ・ 慎 泰俊
(38歳)



Gojo & Company, Inc.



ステージ：レイター

2019年10月、シリーズCで42億円を資金調達

* インド、カンボジア、ミャンマー、スリランカ

対 象

期末時点までに投資結果（回収若しくは実質的倒産）が判明済の銘柄

- 上場済の保有銘柄は、初値で全株売却した前提で計算

投資倍率

総回収額 ÷ 総投資額

IRR

（総回収額 ÷ 総投資額）^{1/平均投資期間}

プロフェッショナルサービスセグメント

- 9月以降の積み上がりは順調

保険セグメント

- 継続成長

その他セグメント（ワークスタイルラボ）

- 先行投資フェーズ

営業投資セグメント

- 下期もIPO/トレードセールで複数社の売却を見込む

<売上高>

<u>2019.3</u>	<u>2020.3</u>
178億円	⇒ 213億円
	(+19%)

<売上高合計>
213 + α 億円

28億円	⇒ α 億円
------	--------

Dream Incubator Inc.

The Business Producing Company